

「平和への願い」を届けました！

「八女市平和祈念式典」に献呈する千羽鶴を、夏休みに、生徒会役員が市役所に届けました。見崎中の全校生徒で、平和の祈りを込めて鶴を折り、生徒会役員で千羽鶴の形に揃えました。生徒会掲示板には、この写真と一緒に、生徒会通信として以下の文章が掲示されています。



「今から76年前、広島と長崎に原子爆弾が投下されました。この原爆でたくさんの方々亡くなり、今でも放射能などで苦しんでいる人がいます。平和の広場には、原爆のときの火が今でもともされていて、この火には平和への願いが込められています。また、沖縄では、この戦いでゆいいつ地上戦になった沖縄戦があり、たくさんの方々亡くなりました。今でもそのことを忘れないために、沖縄には平和の礎（いしじ）が立てられています。このように多くの方々亡くなった戦争は、二度としてはいけません。そして、夏休み前は、千羽鶴作成に協力していただきありがとうございました。皆さんに折ってもらった鶴は八女市役所にもっていき、8月6日に平和の広場に贈られます。これからもその気持ちを持って生活していきましょう。」

出校日「平和学習」のようす

8月6日（金）に、3学年とも平和学習を行いました。平和について真剣に考え、決意を新たにされた様子が、次のような多くの感想から伝わってきます。

「沖縄戦のビデオを見て、最後、ナレーターの松平さんが、『ごくあたり前の普通の平和な村に暮らしていた、普通の民間の人たちを巻き込んでしまうのが、戦争である。』というコメントを聞いて、関係ない人たちを戦争に巻き込み、あたり前の日常をうばうだけでなく、たくさん命をうばい、たくさんの人を悲しませて、それこそが『戦争は最大の差別である』ということだと思いました。」

「今の日常が一瞬にしてなくなって、家族や友達に会えなくなるのは、一言で表していいのかわからないけど、こわいと思った。日本も兵器（風船爆弾）を作っていたと初めて知った。」
 ※風船爆弾—太平洋戦争において日本軍が開発・実戦投入した気球に爆弾を搭載した無差別爆撃兵器。八女でも八女高等女学校（現福島高校）の女学生が動員され、風船の原紙づくりが行われた。

【1年生平和学習の様子】



「小中一貫教育」進めています！

【研究主題】

主体的に学習する子どもの育成
～各教科等における見方・考え方を働かせる支援を通して～

CS

見崎中学校



忠見小学校



小中一貫
教育



【三校合同の研修会の様子】



8月6日（金）の午後、川崎小学校に見崎中・忠見小・川崎小の先生方が集まり、「見崎中ブロック小中一貫教育全体研修会」が開催されました。学校だより第2号でも紹介しましたが、三校は、令和3、4年度八女市教育委員会研究指定・委嘱事業である「小中一貫教育」に現在取り組んでいます。

当日、事務局校長挨拶の中で、三校の先生方には次のことを伝えています。

「それぞれの学校の状況としては、まず、川崎小の複式学級によるさまざまな課題、今年度教頭先生が配置されていないということもその課題の一つですが、令和6年度には完全複式となり、さらに子どもたちにとって厳しい教育環境となるのは確実です。忠見小は、急激な児童数の減少はないですが、それでも少しずつ減少し先細りしていきます。見崎中は、生徒減により令和6年度には各学年1学級となり、教員数が現在より4名減と、教育環境の維持が困難となります。

こういう三校の状況から、三校の校長は、義務教育学校設立しか、見崎校区の子どもたちの教育環境を保障する方法はないと思っています。

ぜひ、先生方には今年度と来年度とで、その土台づくりをしてもらいたいと思います。土台づくりで一番大切なのは、コミュニケーションです。まずは、小中の垣根を越えてコミュニケーションを進めていって下さい。」

当日は、全体会・教科部会等、熱心な協議が繰り広げられました。今年度と来年度で、小中の垣根を越えた「チーム見崎」がつけられることと確信しています。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組について】

国の緊急事態宣言を受け、現在、学校では、短縮授業をはじめ様々な感染拡大防止の取組を行っています。これに伴い、今後の行事等の変更・延期・中止等が起きる可能性があります。その際は、文書や安全安心メールでお知らせいたしますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、生徒たちには夏休み明けの初日に、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」（日本赤十字社）の内容について再確認し、差別的な言動に同調しないことや、それぞれの立場でできることを行っていくことの大切さを伝えました。